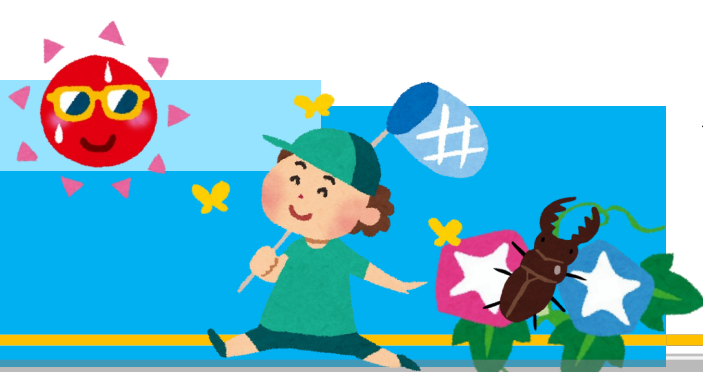




このコーナーでは、職員の趣味や特技を紹介します。今号は病院長補佐（教育・研修・地域連携担当）に寄稿いただきました。

ポリフォニーと、読書と、ウエスティと

私の趣味といえるのは、音楽を聴くこと、本を読むこと、愛犬の世話をすることです。音楽はポリフォニーが好きで、関西方面へ演奏会を聴きに行ったり、中世から現代にいたるまでたくさんのCDを集めています。もともとは大学入学時に、混声合唱団の練習をふらっと見に行ったのがきっかけでした。倍音やハーモニーに惹かれ、学生時代は社会人合唱団とも掛け持ちし、30歳代のころは男声合唱団に入っていました。きちんとした音楽の教育を受けていませんので、楽譜は読めず、絶対音感が無いことを逆手にとって、ハ長調に読み替えて、音階をカタカナで楽譜に書き込み、和音の感覚で音取りをするというやりかたでした（音楽の専門の方、申し訳ありません）。最近では声も出なくなり、もっぱら聴くばかりです。読書は、歴史や社会・行動科学的なジャンルが多く、その時に人が何を考え、どう行動したか、なぜそうしたのか、それにどんな意義があるのかを考えながら読むのが大好きです。最近のAmazonは購入履歴を分析して次々とお勧めメールを送って来るので、ついワンクリックで買ってしまい、読む時間もないのに枕元に何冊も積みあがっている状態です。



S58徳島合唱団定期演奏会

さて、私が飼っているウエストハイランドホワイトテリア（通称ウエスティ）は、スコットランド原産で、独立心が強く、やんちゃで、活発な一方、人間が大好きです。知り合いに譲っていただいて偶然飼い始めたのをきっかけに、すっかりはまってしまい、今は男の子の兄弟を飼っています（というか、一緒に暮らしています）。飼い主の墓守を何年も続けて、スコットランド版忠犬ハチ公といわれる「ボビー」はウエスティ（一説ではその原型のケアンテリア）で、エジンバラにその銅像があり、国際学会の合間にわざわざ見に行きました。



ウエスティ兄弟



エジンバラにあるボビーの銅像

中世のアカペラの宗教曲を聴きながら、本を読んで、ウエスティとすごしていると、ストレスも時間も（仕事も？）忘れてしまいます。

病院長補佐（教育・研修・地域連携担当）

赤池 雅史

このコーナーでは、病院でとりくんでいる様々な事業を紹介します。

病床管理センターについて

病床管理センターは平成29年4月に中央診療施設の患者支援センター内に設置された新たな部門です。その主たる目的は患者様が適切な医療を適切な時期に受けられるように、計画的で効率的な入退院を支援し、健全な病棟運営を継続することです。業務内容は病床管理に関すること、入退院調整やベッドコントロールに関すること、入院サポートに関することなどです。当センターは、センター長、副センター長、および各診療科、各病棟、事務部門などから選出されたセンター員により構成されています。定期的に病床管理センター会議を行い、入退院に関する様々な問題について情報共有、把握、分析、改善策の提案を行っています。また、病床管理センターだよりを発行し、病床利用に関する目標や豆知識を周知させていただいています（図1）。

このような取り組みの副次的効果としまして、1. 患者満足度の向上（入院待ち期間の短縮）、2. 在院日数短縮などによる病院収益増加が期待されます。病院収益増加は徳島大学病院が高度医療の提供を維持・展開するためにはとても重要なことであり、各医療従事者が高い意識を持ち続けることが鍵です。平成29年度は【DPCⅡ期以内退院率60%】を目標に掲げて活動してまいりましたが、各診療科のご尽力により病院全体として達成することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



図1

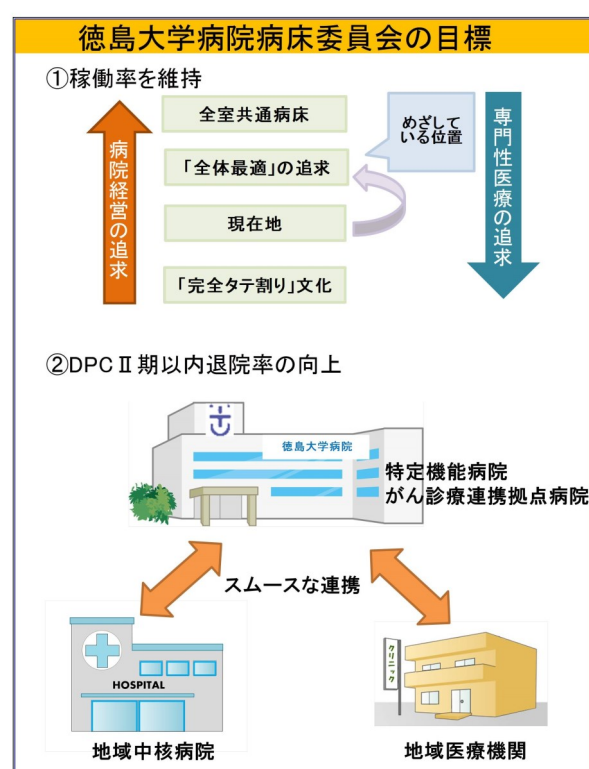


図2

しかし、平成30年度の診療報酬改定に伴い、徳島県内唯一の特定機能病院としましてはさらに高い目標設定が必要となりました。高度な専門性も維持しながら、病床を必要としている症例に迅速にかつ柔軟に対応できるよう共通病床の運用を進めているところです（図2）。病床稼働率維持と在院日数短縮の両要素がハーモニーを奏でることができるよう今後も地道に活動してまいりたいと思いますので、ご理解とご協力そしてご指導をよろしくお願い申し上げます。

病床管理センター長 六車直樹

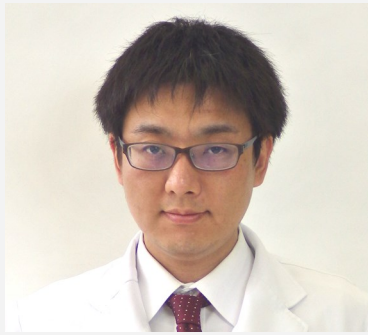
NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係（bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp）までお寄せください。また、「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしています。



病院新採用職員の紹介

血液内科 岡本恵暢医員



平成30年4月より徳島大学病院血液・内分泌代謝内科医員として勤めさせていただいています。平成28年に徳島大学を卒業し、徳島大学病院卒後臨床研修センターで初期臨床研修を終えて、この度スタッフとして採用していただきました。徳島県外の出身であり、一時は地元での就職も考えていましたが、医師としての自分を作り上げてくださった皆様のもとで働きながら、内科医としてさらに研鑽を積み上げ、いずれは専門医として徳島の医療に貢献したく、後期研修医として残ることを決めました。4月から主に病棟業務に携わらせていただいています。また、1月に結婚し、休日は妻との時間も確保でき、公私共に充実した生活を送らせていただいています。若輩の身であり、日々学びの毎日ではありますが、これからは皆様の診療の一助となれるよう精一杯務めさせていただく所存です。多々至らぬ点ではありますが、その折は何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

食道・乳腺甲状腺外科 鈴木恵美医員

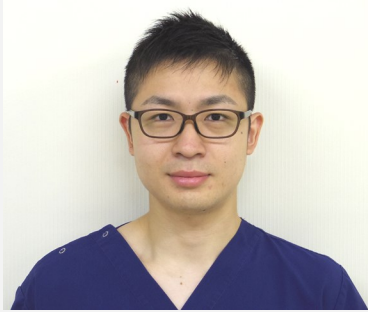


本年度より食道・乳腺甲状腺外科の医員としてお世話になることとなりました、鈴木恵美と申します。神奈川県生まれ、東京育ち、平成28年に群馬大学を卒業し、同じく群馬県にある桐生厚生総合病院で初期臨床研修を行ってまいりました。直接的に病気を治すことのできるかっこよさに惹かれ、外科へ進むことに決めて徳島に参りました。現在は丹黒教授をはじめとした諸先生方、スタッフの皆様のご指導の下、日々診療や勉強に励んでおります。

趣味はスポーツ、特にバレーボールが大好きで、小学生から大学まで、研修医時代も地域のチームに所属して続けてきました。またドライブも好きで、群馬では温泉や史跡へ暇があるたびに出かけていました。念願の二輪免許も取得したので、ツーリングにも行ければと思います。徳島でおすすめの場所があればぜひ教えてください。

まだまだ半人前以下の私ですが、少しでも良い医師になれるよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

救急集中治療部 高島拓也医員



今年度から徳島大学病院救急集中治療部で働いている高島拓也と申します。初期研修も徳島大学病院だったため引き続きお世話になります。救急集中治療部では日々重症患者や術後の管理を行っています。分からないことばかりで勉強すべきことも尽きませんが、それ故に好奇心を刺激される日々を楽しく過ごしています。また、自科の先生だけでなく、他科の先生ともお話しすることの多い職場なので様々な疾患や各先生の考え方を学べることができ非常に刺激的です。

休日は勉強をしたり家にいるリクガメを愛でたりして過ごしています。

救急集中治療部でしっかりと全身管理を学ぶのに加え、研究に関しても早く一人前になれるよう頑張ろうと思います。何卒宜しくお願い致します。

むし歯科 上田真之修練歯科医



こんにちは。4月からむし歯科で修練歯科研修医として働いています上田真之と申します。

昨年度は徳島大学病院で研修医生活を送らせていただきました。自分の将来を考えたときに、もう少し大学での専門的な診療を学びたく当院での修練研修医を選択しました。現在所属しているむし歯科では名前のとおりむし歯の治療、歯の神経の治療（根管治療）、歯周病の治療をメインに日々診療しています。普段は予約診療と救急診療を交互に行っています。救急診療では他院から紹介の患者や当院の入院患者処置も多く、他分野の知識が必要になることが多々あります。

休日は歯学部の学生たちとサッカーをしたり、趣味である釣りに出かけたりしています。

今年度の目標は、まずは基本的な手技を高めていくことを意識して取り組みたいと思っています。また、顕微鏡を使った精密な根管治療といったワンステップ上の診療も経験していきたいと思っています。

薬剤部 神田将哉薬剤師



今年度から薬剤部に薬剤師として入職致しました、神田将哉と申します。

小学校から高校までサッカーをしており、大学ではフットサルサークルに所属していました。休日はフットサルなどをしてリフレッシュしています。最近の趣味では、サイクリングにはまっています。一昨年は、広島 - 愛媛間を繋ぐしまなみ海道を往復しました。今年は、淡路島一周を走破したいと考えています。

仕事への意気込みとしましては、大学病院という高度医療を提供する場で活躍できる薬剤師となることです。そのために必要と考えるのは、まずはジェネラリストとしての幅広い知識を身に付けることです。同時に、医療人としての倫理観を備えたいと思います。一日一日学ぶことが多く、大変だと感じますがその分成長できる環境に身を置けていると実感できます。これから、目指す薬剤師像に近づけるよう一生懸命頑張りたいと思います。

看護部 西病棟3階 前上門玲美看護師



看護師として希望した小児医療センターに配属となり、日々仕事を覚えることに精一杯で時には失敗をして落ち込むことも多々あります。しかし、親身になって話を聞いてくれる同期や励ましてくれる優しい先輩方に支えられ、充実した日々を送っています。

休日には友達とカフェに行ったり、天気の良い日には趣味の山登りをしたりとリフレッシュにも努めています。

当部署は様々な診療科の患者さんが入院しているため、幅広い知識が必要とされます。大変なこともあります。子どもたちの笑顔に癒され、疲れが吹き飛ばす素敵な病棟です。私はまだまだ半人前で、業務を覚えることに必死の毎日ですが、一つずつ出来ることを増やしていき早く一人前として働けるよう精進していきたいです。また、患者さんの笑顔が少しでも増えるような看護、エビデンスのある看護が提供できるようこれからも頑張っていきたいです。